

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-47と6ポイント悪化傾向を強めました。売上額は8ポイント、収益は7ポイント減少傾向を弱めました。価格面では、料金価格は10ポイント下降傾向を強め、材料価格は19ポイント上昇傾向を弱めました。資金繰りは31ポイント大きく窮屈感を弱めました。残業時間は横ばい、人手は3ポイント不足感を強めました。設備の状況は不足に転じ、設備投資については、車両を中心に27%と前期に比べ2ポイント増加しました。

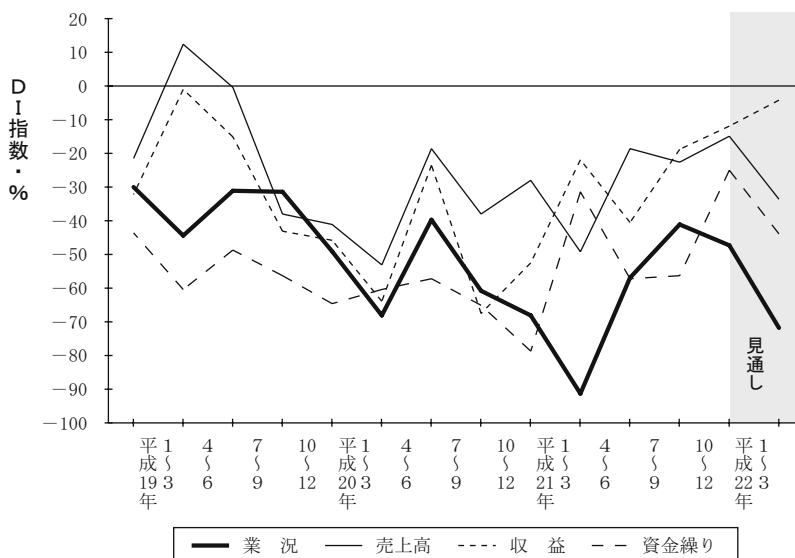
来期の見通し

業況は-72と今期に比べて25ポイント悪化傾向が強まるとみています。売上額は19ポイント減少傾向を強め、収益は8ポイント減少傾向を弱めるとみています。価格面では、料金価格は12ポイント下降傾向を弱め、材料価格は18ポイント上昇傾向が強まるとみています。資金繰りは19ポイント窮屈感が強まりそうです。残業時間は30ポイント減少傾向が強まり、人手は過剰に転じるとみています。設備の状況は横ばいとなりそうです。設備投資については、車両を中心に18%の実施予定としており、9ポイント減少するとみています。

調査員のコメント

- 前期に比べて、売上・収益とも増加となった。また、これからの時期は各会合により売上増加が見込まれる。(タクシー業)
- 受注先の農場閉鎖により飼料運送が減少となった。今後新しい受注先ができれば、売上の回復が見込まれる。(飼料運送業)

景況の推移



主な指標の動き

